

登録コード	E4850900	開講年度	2026				
授業科目	教育実習（中等）A（長野中）				担当教員	中野 良寿	
英文授業名	Applied Practice Teaching in Junior High School A				副担当		
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育附属長野中学校		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
	他者と協働して教育活動をつくる社会的スキル						
	理論と実践を往還する省察と改善の態度						
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	義務教育の現場で幼児、児童及び生徒の育成に直接携わることを通して、教育の意味や内容や方法を学ぶ。						
(5)授業計画	(1) 教科の指導 (2) 道徳の授業 (3) 特別活動の指導 (4) 学級経営 (5) 学校経営 (6) 研究会及び研修 (7) 服装・言葉遣い・礼儀など、教師としての所作の体得 (8) 教育実習の総まとめとしてのレポートの作成 (9) 初等・中等教育の一貫性を理解するための観察と実習 詳細は各附属学校園の「教育実習の手引」による						
(6)成績評価の方法	「教材研究・指導計画・指導法・実習態度・校務処理」これらの観点に基づき附属学校園で評価を行い、学部で総合的に判断する。						
(7)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	各実習校の事前指導、事前実地指導内の指示による。						
(9)履修上の注意	・2年次終了時までに所定の単位を修得していること。 ・ガイダンスに出席し、必要書類を漏れなく提出していること。 ・当該年度に開講される「教育実習事前・事後指導」を受講すること。 ・事前実地指導に出席すること。 ・実習に係る費用は個人負担となる。 ・学生便覧及び開設授業一覧表/時間割表の関連頁を参照すること。 ・学校園教職員や大学教員の指導に従わず、実習を継続することが困難であると判断された場合は、実習が途中で中止となることがある。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・各実習校実習担当教員 ・教育学部学務係						
【教科書】	実習校の指示による						
【参考文献】	実習校の指示による						